

西方音楽館友の会第90回～第95回コンサート クラウドファンディング

募集期間2022年2月1日～3月31日 目標額100万円!
100万円に1円でも満たないと全額返金となります。
ご協力、お願いいたします!

ご支援いただける方は、URLまたはQRコードからお入りください。
<https://readyfor.jp/projects/nishikata90-95>



Readyfor 西方音楽館 でも検索できます。
(一昨年のと今回のと、一緒に出ますが)

インターネットが苦手な方は、西方音楽館にお問い合わせください。

ご支援の額とリターン

- A コンサートのご報告・・・ご支援くださった皆様へ
- B 西方音楽館友の会主催コンサートへのご招待状(有効期限 発効日より6か月以内)
- C 2022年6月18日(土)&8月21日(日)J.S.バッハ:ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全曲演奏会シリーズの実況録音CD
- D 1時間ほどの出張演奏

[出張演奏について]

- 〈ご支援の額〉
- 3,000円・・・A
- 10,000円・・・A、B 1枚
- 20,000円・・・A、B 2枚
- 30,000円・・・A、B 3枚、C
- 50,000円・・・A、B 4枚、C
- 100,000円・・・A、B 5枚、C、D

出張演奏者 岡田龍之介:チェンバロ 小川和隆:ギター
国枝俊太郎:リコーダー及びフラウト・トラヴェルソ 高橋弘治:チェロ
山本楓:オーボエ及びオーボエ・ダモーレ
中川岳:チェンバロ
出張演奏で交通費や宿泊費が必要となる場合には、ご支援いただいた方のご負担となります。遠方の方は、演奏旅行などの機会をご利用いただくとうれしいかと思ひます。
また、チェンバロは、設置してある場所でお願ひいたします。

2021年1月～12月西方音楽館友の会会計報告(クラウドファンディングを除く)

2020年9月根本保子様から、友の会と財団に50万円ずつご寄付いただきました。
2021年3月匿名ご希望の方から、財団に100万円ご寄付いただきました。
以上の資金を、2021年1月～12月までのコンサートの赤字補てんに使用させていただき、
また、2022年2月と3月のコンサートにも使用させていただきます。
この場を借りて、心より、御礼申し上げます。

収入	
コンサート等入場料収入	563,000円
友の会会費収入	580,000円
うどん・カレンダー販売収益	51,867円
上記以外のご寄付	12,000円
合計	1,206,867円
支出	
コンサート支出	2,301,170円
雑費	26,000円
会報作成費&送料(第24号、第25号)	約100,000円
合計	2,427,170円

収入-支出=-1,220,303円

(昨年は、コンサートの回数が多く、また客席数を減らしての開催でしたので、赤字の額が大きくなりました。新型コロナウイルスの収束を待ち望みます)

こ・ぼ・れ・話

美意識・感性を磨くと、
風のそよぎ、降りこぼれる陽の光、
日常に溢れる豊かなものに、気づき、
より、心も満たされると、
思います。

中新井紀子

西方音楽館友の会会員募集

会員を倍増し、赤字を無くしたく、ご協力よろしくお願ひいたします!!!

西方音楽館友の会会員募集(毎年4月が更新の時期です)

A会員:(3,000円)50名 B会員:(10,000円)43名(合計93名 580,000円)(2021年12月25日現在会費をご納入の方)

それぞれコンサートへの特典があります。西方音楽館友の会主催コンサートは、会員の会費で支えられています。

西方音楽館友の会運営委員:中新井紀子(西方音楽館館長)、岡田龍之介(チェンバロ奏者)、小川和隆(ギタリスト)、木下大輔(作曲家)
高田良久(医師、下野楽遊代表)、中新井諒子(国立音大卒、クラリネット)永田美穂(音楽学)、山村多恵子(オカリナ奏者)



2022. 2

木洩れ陽の窓から No. 26

西方音楽館友の会会報

編集・発行人 中新井紀子

西方音楽館

322-0601

栃木県栃木市西方町金崎342-1 TEL 0282-92-2815 E-mail info@wmusic.jp Web http://wmusic.jp

西方音楽館「木洩れ陽ホール」 &「あしび馬酔木の蔵」オープン10周年

中新井紀子

2022年2月12日で、西方音楽館「木洩れ陽ホール」と「(あしび)馬酔木の蔵」は、オープン10周年を迎えます。田舎に小さ過ぎるホール、地元の方々には敬遠されてしまうようなコンサートの数々、はた迷惑なことを続けてしまっているのでは?との懸念を抱きつつも、ここでしか出来ないコンサート、ここならではの企画を続けました。

最近「世界のエリートはなぜ『美意識』を鍛えるのか?」(山口周著光文社新書)を読みました。以下、簡単な要約です。

企業の発展や組織の開発には、論理的思考・理性的思考、及び過去の経験の集積に基づく判断がこれまで重要視されてきた。しかし、これだけでは、これまで経験したことのない事態に直面した時、判断に窮する。そして、現代はまさに、これまで経験したことのない事態に直面せざるを得ない事態が頻出している。この事態を打破するためには、美意識・感性に優れたトップが、直感によって判断、決断し、閃きによって新たなものを生み出し、このトップの決断やひらめき(アート)に対して、論理的思考・理性的思考(サイエンス)を司る部下、及び過去の経験の集積(クラフト)が豊富な部下が、脇を固める、という仕組みがベストで、現在発展している企業や組織は、まさにこのような体制である。つまり、発展し続ける企業や組織のトップになる人間には、優れた美意識・感性が必要なのである。

それゆえ、世界のエリートは『美意識』を鍛えている。

これは、企業など組織に限ったことではなく、1人の人間内においてもその縮図は当てはまる。脳腫瘍で前頭葉を損傷した男性は、高い知性を持ち、論理的・理性的推論の能力が損なわれていないにもかかわらず、極端な感受性や情動の減衰が認められ、その結果、実生活上の意思決定に大きな困難を生じてしまうほど、判断の能力を欠いてしまった。重大な罪を犯したオウム真理教の高学歴の幹部たちは、ことごとく文学を読んでいなかった。「偏差値は高いけれど美意識は低い」という人に共通しているのが「文学を読んでいない」という点。

美意識や感性は、人間が判断を行う際に、重要な役を果たすらしい。

大まかな言い方ですが、音楽や美術は、美意識や感性を養うのに長けており、文学は、真理とは何か、善とは何か、を考えるのにとっても長けていると思います。また、芸術家は、社会の歪み、政治の腐敗などを、直感的に見抜く能力が高いように思われます。

もちろん、美意識や感性が優れているだけでは不十分で、論理的思考・理性的思考や経験の積み重ねも、とても必要だと思ひますが、例えば、現在の学校教育では(大学においてすら)、音楽・美術・文学はかなりの割合にされ、受験向きの勉強や、実務的・実利的科目の勉強が優先されていると思ひます。

このように見えてきますと、西方音楽館は、まさに美意識や感性を養い、磨く場所として、かなり社会貢献していると判断できます。オープン10年経ちましたが、これからも胸を張って、美意識や感性を磨く場としての務めを果たしていきたいと思ひております。